

●発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ☎電話 075(931)1111

向日市埋蔵文化財センター '96速報展 7月7日(日)まで



発掘調査成果を一堂に展示

「卑弥呼時代の祭殿跡か？」昨春秋、日本中の考古学ファンを驚かせ、歴史に新たなページを加えた、中海道遺跡での「祭殿」の発見。その後の調査で、弥生期の土壁塊の出土や鍛冶工房跡も確認されています。

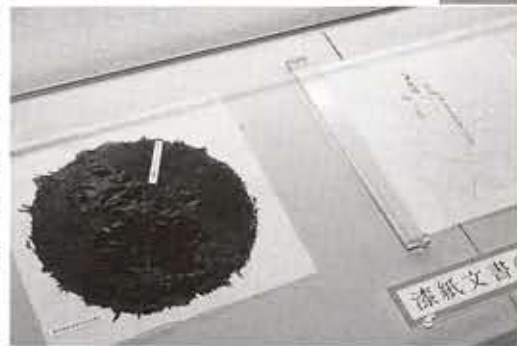
この中海道遺跡をはじめ、昨年度に行った発掘調査成果を一堂に集め、出土遺物・復元模型・パネルなど150点を、文化資料館にて展示しています。いにしへの歴史と文化にふれあい、乙訓地域をおさめた王に思いを馳せる、ぜひ一度お立ち寄りください。



中海道遺跡から出土した日本最古の「祭殿」とみられる建物跡の復元模型



出土遺物やパネルなど150点を展示しています



長岡京跡で見つかった漆紙文書。いらなくなった書類を漆を入れる容器のふたに再利用したもので、紙に付着した漆によってコーティングされ現在まで残りました

向日市埋蔵文化財センターでは、平成7年(1995)年度には48件もの発掘調査を実施した。その最大の成果は、物集女町中海道遺跡での「祭殿」の発見であった。

日本列島を邪馬台国という新しい勢力がまとめた。あつた時代、中海道の王も卑弥呼と親交があったに違いない。鉄を鍛える新しい技術に習熟し、土壁で囲われた新建材による住居を造

豊穣を祈った。卑弥呼の呪力もこのような祭殿で培われたのかもしれない。彼または彼の子孫は、弟国統一のシンボルとして、全域が最もよく見

り、溝で囲われた斬新なデザインの新しい勢力が、いくつにも分かれていた弟国(オトク)を統一したのである。

祭殿では新しい王が平和と

800年以上も昔の、乙訓地域の様子をこのようにリアルに教えてくれる。そんな往事の姿を

'96速報展へのお誘い 再現/中海道遺跡の祭殿

向日市埋蔵文化財センター、溝で囲われた斬新なデザインの新しい勢力が、いくつにも分かれていた弟国(オトク)を統一したのである。

祭殿では新しい王が平和と

800年以上も昔の、乙訓地域の様子をこのようにリアルに教えてくれる。そんな往事の姿を

'96速報展

▷期間 7月7日(日)まで
▷時間 午前10時~午後5時30分
▷場所 文化資料館(月曜日休館)

お問い合わせ
向日市埋蔵文化財センター ☎931-3841



中海道遺跡から出土した弥生時代末期(3世紀後半)の土壁(つちかべ)とみられる塊。全国で二番目に古い出土例



祭殿と同じ位置にあった竪穴式住居跡の床面からみつかった鉄滓(てっさい)と砂鉄。祭殿が建てられる前に、鍛冶(かじ)工房があったことを裏付ける



縄文土器



① J.O.C.ジュニアオリンピックカップ大会。全国から集まった精鋭が白熱のレースを展開しました

② 近畿高等学校体操・新体操選手権大会。華麗な新体操の演技が繰り広げられました

平成9年度全国高校総体リハーサル大会
3種目で熱戦!

平成9年8月1日から24日まで京都府で開催される全国高等学校総合体育大会に先立ち、本市が会場となる体操・新体操・自転車競技(トラック)の3種目のリハーサル大会が行われました。